

令和6年度 地域研修(秋田県) 地域研修カリキュラム

(1) オンデマンド講義(LMSを利用) 視聴期間:12月23日(月)～1月30日(木)

視聴時間 受講必須:6.1時間 / 受講任意:3.3時間

  :基礎的な内容の単元   :応用的な内容も含む単元 ● : 受講必須 ◇ : 受講任意

区分	単元		R6 受講	単元の概要	時間 (目安)	講師	単元の学習目標
防災行政概要	1	災害と防災の基本	●	防災・危機管理の基本的な考え方や、我が国の自然特性、近年の災害事例について学ぶ	15分	牛山 素行 (静岡大学)	・防災・危機管理の基本的な考え方を説明できる ・「災害」「外力」「防災」「ハード対策とソフト対策」などの概念を説明できる
	2	我が国の自然災害特性	●		17分		・自然災害が起こりやすい我が国の自然特性を説明できる ・災害の統計値を見る上での注意事項を説明できる
	3	近年の災害事例	●		25分		・もっとも高頻度にかかる風水害を対象に、近年のどのような災害事例があったのかを説明できる ・自然災害事例の概要に関する記録を見る上での注意事項を説明できる
地域の災害特性	4	地域の災害特性	●	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	60分	小池 二郎 (秋田地方気象台)	・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。
災害法体系・防災計画・災害への備え	5	防災行政概要	●	防災活動全体の流れや災害関連法の体系、防災関連計画、政府の初動体制、防災人材育成、地区防災計画、個別避難計画等の概要を学ぶ	19分	鈴木 毅 (元 内閣府)	・防災に関する業務全体を俯瞰し、各業務の概要・位置付けを説明できる
	6	災害法体系と災害対策基本法の概要	●		15分	佐々木 凜太郎 (内閣府)	・災害関連法の体系と災害対策基本法の概要を説明できる
	7	防災計画の概要	●		16分	沖 麻未 (内閣府)	・防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を説明できる
	8	大規模災害時における政府の初動対応	●		9分	小原 信宏 (内閣府)	・国の災害対策本部と現地組織の概要を説明できる
	9	内閣府(防災)における防災人材育成の概要	●		5分	竹島 大祐 (内閣府)	・内閣府(防災担当)における研修・訓練を通じた防災人材育成の概要を知る
	10	地区防災計画と住民主体の災害への備えの概要	●		16分	藤原 沙也加 (内閣府)	・地区防災計画の取組を踏まえて、住民主体の災害への備えの重要性を説明できる
	11	避難行動要支援者の避難支援	●		16分	藤田 亮 (内閣府)	・避難行動要支援者名簿の概要を説明できる ・個別避難計画の概要を説明できる
災害から命を守る	12	「避難情報に関するガイドライン」の経緯	●	「災害から命を守る」ための基本的な知識として、防災気象情報の概要や、避難情報の意味や内容を学ぶ	14分	牛山 素行 (静岡大学)	・災害情報に関する基礎的な概念を説明できる ・内閣府「避難情報ガイドライン」のこれまでの動向について説明できる
	13	避難行動の概要	●		18分	牛山 素行 (静岡大学)	・避難行動の意味や分類を説明できる ・高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保の意味を説明できる
	14	防災気象情報の概要	●		16分	天羽 達 (気象庁)	・警報等の防災気象情報を受けた災害対応過程と態度を学ぶ
	15	避難情報の発令判断・伝達等	●		14分	星尾 日明 (内閣府)	・避難情報の発令に関する災害対応過程と態度を学ぶ
指揮統制総論 (世界標準に則した指揮統制)3 平時業務を世界標準に即した災害対応業務にどう変換するか	16-1	災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の全体像を把握できる	◇	災害対策本部組織を統制していくための理論と基本構造を学ぶ。	5分	林 春男 (京都大学)	・災害発生後に基礎自治体が行うべき業務の全体像を把握できる ・世界標準に即した災害対応業務が5つの役割で構成されていることを理解できる ・市町村が中心になって活躍する災害対応業務6+1を理解できる ・平時の業務を世界標準に即して災害対応業務に変換することができる(ICS準拠)
	16-2	世界標準に即した災害対応業務が5つの役割で構成されていることを理解できる	◇		10分		
	16-3	市町村が中心になって活躍する災害対応業務6+1を理解できる	●		9分		
	16-4	平時の業務を世界標準に即して災害対応業務に変換することができる(ICS準拠)	◇		6分		
指揮統制の現状	17-1	「令和2年7月豪雨」について熊本県人吉市松岡市長へのインタビュー	●	大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語る。	22分	松岡 隼人 (熊本県人吉市)	・経験を基にした指揮統制の実態と考え方を説明できる。
	17-2	インタビューの解説	●		7分	林 春男 (京都大学)	
参謀にとっての災害対策本部運営	18-1	災害対策本部を指揮するとは	◇	危機対応組織の参謀がどのようにトップを補佐しながら災害対策本部を運営していくのかについて学ぶ。	16分	越野 修三 (元 岩手県防災危機管理監)	・災害対策本部の指揮とは何かについて説明できる。 ・トップと参謀の役割について説明できる。 ・トップの意思決定・指揮を補佐する参謀機能の強化について説明できる。 ・情報処理と状況判断について説明できる。
	18-2	トップと参謀の役割	◇		17分		
	18-3	トップの意思決定・指揮を補佐する参謀機能の強化	◇		14分		
	18-4	情報処理と状況判断	◇		16分		
災害対策本部が行う対策立案プロセス	19-1	災害対策本部の活動サイクル	●	「当面の対応計画(インシデント・アクション・プラン)」の果たすべき役割と基本的な構造、立案のプロセスについて学ぶ。	13分	林 春男 (京都大学)	・災害対策本部の活動サイクルについて説明できる。 ・当面の対応計画の策定について説明できる。 ・当面の対応計画策定のための災害対策本部での情報処理について説明できる。 ・災害対策本部会議の進め方について説明できる。
	19-2	当面の対応計画の策定	●		9分		
	19-3	当面の対応計画策定のための災害対策本部での情報処理	●		15分		
	19-4	災害対策本部会議の進め方	●		15分		
住民啓発	20	住民啓発	◇	住民向けの防災の啓発の基本的な事項および具体例について学ぶ。	60分	国崎 信江 (危機管理教育研究所)	・住民の防災の責務と啓発の意義を説明できる。 ・住民啓発の方法を説明できる。 ・住民啓発の留意点を説明できる。
避難所運営の実際	21-1	避難所運営現場における課題	◇	事例を基に避難所運営の実際を学ぶ。	11分	国崎 信江 (危機管理教育研究所)	・避難所運営現場における課題について説明できる。 ・熊本地震における避難所運営の実際(全体)(環境改善)について説明できる。 ・熊本地震における避難所運営の課題(車中泊)(ペット対応)(運営主体)について説明できる。 ・熊本地震における避難所運営の実際(まとめ)について説明できる。
	21-2	熊本地震における避難所運営の実際(全体)	◇		15分		
	21-3	熊本地震における避難所運営の実際(環境改善)	◇		5分		
	21-4	熊本地震における避難所運営の課題(車中泊)	◇		13分		
	21-5	熊本地震における避難所運営の課題(ペット対応)	◇		5分		
	21-6	熊本地震における避難所運営の課題(運営主体)	◇		5分		
	21-7	熊本地震における避難所運営の実際(まとめ)	◇		1分		

（２）リアルタイム研修(ハイブリッド形式)   開催日:1月31日(金) 13:00～16:30

県庁職員:秋田県庁 災害対策本部室に集合し対面   ／   市町村職員・地域振興局職員:Zoomを使用しオンライン

時間	単元		実施概要	時間 (目安)	講師等
13:00 ～13:10	-	(オリエンテーション)	開会の挨拶(県・内閣府)、コーディネーター挨拶、注意事項等	10分	(事務局)
13:10 ～15:20	1	【訓練】 災害対策本部における対応	水害によって県内のいたるところで水害が発生するとして、緊急・応急フェーズと生活再建業務の準備までを訓練対象とする。 地域振興局ごとに管轄の市町村も含めた班分けを行い、ファシリテーターが市町村に対して状況付与を行う。市町村は状況を取りまとめ、意思決定方針を地域振興局に報告する。地域振興局は管轄の市町村を取りまとめて、県に報告し、必要に応じて対応調整を行うという災害対応の一連の流れを疑似体験する。	130分	訓練参加者 (県・市町村) 田村コーディネーター ファシリテーター
15:20 ～15:30			休憩	10分	
15:30 ～15:50			訓練をふりかえって各班の代表者が発表することで、訓練を通じて学び・得たものの全体共有を図る。	20分	
15:50 ～16:20	2	【講義】 能登半島地震から学ぶ 直近の災害対応事例について	令和6年能登半島地震での経験を踏まえ、大規模災害時の被災地における広域避難対応、石川県での災害対応(みなし仮設)業務と事務処理・受援体制の留意点、石川県における地震・豪雨の二重被災対応を講義する。	30分	石川県職員 秋田県職員 ※ ※現在石川県出向中
16:20 ～16:25	-	(閉講)	修了条件等	5分	(事務局)
16:25 ～16:30	-	(写真撮影)		5分	(事務局)